

江古田の森だより



東京総合保健福祉センター 〒165-0022 東京都中野区江古田 3-14-19
TEL. 03-5318-3711 FAX. 03-5318-3712
E-mail: egotanomori@mt.strins.or.jp

<http://www.kaigo-egota.com/>



vol.155

2020年12月発行



ホームページ随時更新中!!

今月の表紙

特養 “運動会”

10月25日に運動会を開催し、玉入れを行ないました。各ユニット毎に行い、利用者さんが紅白に分かれそれぞれ赤と白のボールを籠に投げ入れ、籠に入ったボールの数を競いました。利用者さんの中には鉢巻をされている方もおり夢中で玉を投げ入れ、どの利用者さんも楽しんでいる様子が見られました。競技後には表彰状やトロフィーが授与されて、記念撮影される利用者様もおられたようです。

発行 / (社福) 南東北福祉事業団 東京総合保健福祉センター 江古田の森 広報委員会 印刷 / 石井電算印刷株式会社

設立理念

東京総合保健福祉センター江古田の森は「すべては利用者さんのために」の法人団是の下、高齢者福祉及び障害者福祉の地域の拠点として「住み慣れた地域で生涯生き生きと暮らし続けられるため」に、地域の皆様や利用者、家族に「安心と安全」を提供します。

関連施設

- 特別養護老人ホーム 江古田の森
- 介護老人保健施設リハビリテーションセンター 江古田の森
- ケアハウス 江古田の森
- 障害者支援施設(施設入所支援・生活介護) 江古田の森
- 通所リハビリテーションセンター 江古田の森
- デイサービスセンター 江古田の森
- 居宅介護支援事業所 江古田の森
- 訪問リハビリテーションセンター 江古田の森
- ヘルパーステーション 江古田の森
- 森のほいくえん
- 訪問看護ステーション 江古田の森
- デイサービスセンター ゆずりは
- ケアホーム やまゆり

障害者支援施設 ジエンガ

秋めいた季節が通り過ぎ、寒い冬が訪れはじめた今日この頃、皆様どのようにお過ごしでしょうか。

障害事業所では、日々のレクリエーションで『ジエンガ』を行ないました。

棒を使って抜いたり利用者さん達も、積み上げられたジエンガのどこを抜くかヒヤヒヤしながらも笑顔で楽しんでいらっしゃいました。



師走

短時間通所リハビリテーション

今年も残り僅かとなりました。今年にはコロナウイルスにより世界中が翻弄された1年でしたが、そんな12月にも朗報が！サンタクロース協会（正式名称：グリーンランド・サンタクロース協会・・・世界中に

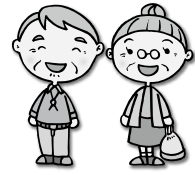


製ダンベルを用いた筋力トレーニングのBIG3（内容は秘密です♪）を皆様にプレゼント致します♡

レクリエーション

長時間通所リハビリテーション

長時間通所リハビリでは、午前と午後に分けてレクリエーションを提供しています。集団体操で体をほぐしてもらい、レクリエーションでは皆様に表情を柔らかくしてもらえよう心掛けて取り組んでいます。レクリエーションは多くの利用者さんが参加して、早口言葉や合唱、ホワイトボードを使ったクイズやなどご提供しています。早口言葉を言う時には職員も間違えることがあり、「職員さんが言えないような難しい早口言葉なの（笑）」「家で練習してきてね！」とツッコミが入ることがしばしばあります。利用者さんの中には、早口言葉のプリントを持ち帰り、後日チャレンジしてすらすらと淀みなく早口言葉を言っていました。今後も利用者さんを支援していくよう職員一同励んでいきます。



運動会

デイサービスセンターゆずりは

10月の行事でゆずりは大運動会を開催しました。今年の種目は、「ピンポン玉送りリレー」「皆でフォークダンス」「お菓子釣り競争」と盛りだくさん。ピンポン玉送りリレーでは、ピンポン玉をレンゲから落とさないように、ハラハラドキドキの中、互角の戦いを繰り広げていました。2競技目では、懐かしい曲に合わせ



てフォークダンスを行い、皆さん楽しく笑みをこぼして踊る様子見られました。3競技目のお菓子釣り競争では、赤白各一組ずつ釣竿を持ち、お菓子の着いている輪っかにフックを引っ掛けて、釣るまでの時間を競い合いました。最後に職員によるリレーを行いました。利用者さんの応援の中一生懸命走り、息を切らしながらゴールを決めました。運動会も大盛況で幕を下ろしました。利用者さんからは、「とつても楽しかったわ。また来年も参加したいわ」等のお声を頂きました。



表彰状!!

デイサービスセンター江古田の森

デイサービスセンター江古田の森では先日、運動会を行いました。「玉入れ」や「綱送り」などの競技を2チームに分かれて競っていただきました。そこで優秀な成績を残した方を表彰状をお送りさせていただきました。「こういうの久しぶりにもらった」など大変喜んでいただきました。



ケアハウス ハロウィン

10月31日のハロウィンに向け、飾りつけを余暇活動の時間に作成しました。「へーそんな祭りがあるんだ。外国の祭りなんだね」「何を作っているの？可愛いものができた！」と皆様が盛り上がりながら作成しました。当日はハロウィンの絵が描いてあるランチョンマットを敷きカボチャプリンやカボチャサラダを食べカボチャの話で盛り上がりしました。





「おむつサービス」

相談支援課

中野区のおむつサービスをご紹介します。在宅での介護を必要とし、常時失禁状態にある方に紙おむつが支給されます。紙おむつ持込不可の医療機関に入院中で、紙おむつ現物での受給が難しい方には、おむつ費用の助成が受けられます。

紙おむつの支給

月1回、ご自宅に配送されます。パンツ型、テープ型など4つの型があり、型ごとに数種類の製品があります。支給限度の範囲内で、1か月に必要な分の製品を選ぶことができます。

対象者は、中野区内に住所があり、生計中心者の前年の合計所得金額が350万円未満の方で、次の1または2に該当する方。

1. 65歳以上で、介護保険の要介護認定で「要介護1～5」と認定されている方で、常時おむつを必要とする方
2. 3歳以上で身体障害者手帳1～2級、または愛の手帳1～2度の障害を有し、常時おむつを必要とする方
ただし、介護保険施設及び障害者支援施設等に入所中の方を除きます。

おむつ費用の助成

紙おむつ持込不可の医療機関に入院中の方には、月単位として入院期間中のおむつ費用が助成されます。おむつ代等の必要事項が明記された領収書を添えて3か月ごとの請求となり、口座振替により後日支給となります。助成額は、実費相当額のうち限度額（1か月あたり6千円）まで助成されます。対象者は、紙おむつ支給とほぼ同様ですが、医療機関に入院中の方が対象となります。

利用相談・申請受付

65歳以上の方は担当区域の地域包括支援センター、障害者の方は障害福祉課で相談や受付を行います。

公開セミナー中止のお知らせ

新型コロナウイルスの影響により、予定されていた公開セミナーを中止することとなりました。今後の公開セミナーの開催については、決定次第ホームページなどで順次お知らせさせていただきます。ご迷惑をおかけして申し訳ありません。

江古田の森体験談



介護老人保健施設 介護職員

今年度令和2年度は、新型コロナウイルス感染が世界で大きな問題となり、依然我が国の日本においても予断を許さない状況が続いております。新型コロナウイルス感染蔓延の予防対策のひとつとして感染経路遮断という観点が用いられ、いつも利用者様が楽しみにされている「面会」が制限され、ご家族様やご友人様とお会いできなくなってしまったのは高齢者施設全体で大きな痛手となってしまいました。利用者様の長い人生でも一度も経験されたことのないことです。信じられないできごとだったと思います。寂しさや孤独を感じる方々もいらっしたことでしょう。江古田の森では少しでも利用者様に大切な人と時間が作れるよう、「オンライン面会」を5月から導入することになりました。ご利用されるご家族様も少しずつ増えてまいりました。導入後半年近く経過したことでご家族様から感想をいただくことができました。

良かった点

「母が元気にしているか、表情がみえるだけでも満足しています。その日の気分なども把握できるので安心します。」という声を多くいただきました。

悪かった点

「特にはありません」が殆どでした
「予約しないといけない」との事が1票ありました。

これからも是非「オンライン面会」のご利用をお待ち致しております。そして1日も早く新型コロナウイルスの問題が解決され、ご家族様やご友人様が安心して面会に来所できる開かれた環境に戻る日々を心より願っております。

体験談募集!!

感動体験、苦勞体験、など当センターの利用体験談だけではなく、介護体験をした記事等も募集します。このコラムを通じ、利用者や支援者の様々な「おもしろい」を共有できることで、悩んでいる方の一助となれば幸いです。引き続き江古田の森での体験談も募集しています。江古田の森広報委員へお気軽にお持ちより下さい。

施設方針

平成29年1月1日

東京総合保健福祉センター江古田の森は、地球の環境保全並びに環境負荷軽減を、介護・福祉サービス活動において常に考慮し、顧客満足を維持しつつ、社会貢献していきます。

- 環境問題関連を含む法令、その他の要求事項を遵守して、福祉サービスを提供します。
- 医学的、教育的、心理的、社会的リハビリテーションを提供し、利用者の生活の質を向上させることで、自立と自己実現を目指します。
- 利用者の自己決定と選択を尊重し、利用者の願いや思いを大切に、利用者の気持ちに寄り添った支援をします。
- 職員は、専門性の向上のために不断の努力をし、研修及び研鑽を積みみます。
- 介護・支援・福祉サービスにおける環境影響評価を適切に行ないます。
- より良い福祉サービスの実現と環境負荷の軽減のための施設目的・施設目標を設定するとともに定期的に見直しを行い、統合マネジメントシステムを継続的に改善していくことを通じて、福祉サービスの質の向上と環境パフォーマンスの向上を積極的に推進します。
- 福祉サービスの提供にあたって、事故防止、感染防止、汚染防止に努め、施設環境の快適性を推進します。
- 施設方針は、全職員に周知するとともにホームページ等を通じて一般に公表します。